

# 木森を学ぶ

## 森の生命や文化などを学ぶ

私たちは古くから森と関わりあいながら、固有の伝統文化や生活文化を育んできました。本市の文化を育む土台になった森の生命や文化などについて学ぶのはとても意義のあることです。



### 羽黒山参道

私たちは自然を崇拜する心を昔から持っており、このことは県内に多く存在する草木塔や、出羽三山神社の松例祭や花まつりなどの行事やまつりに見ることができます。



### 学びの森づくり

油戸地区の「学びの森」で、市内4つの小学校の児童が、春秋に樹木の下刈りや枝打ち、栗拾いをするなど自然環境学習を行っています。



### 南シュヴァルツヴァルト自然公園との交流

鶴岡市では平成21年度に森林利用の先進地であるドイツ・南シュヴァルツヴァルト自然公園と友好協定を結び、相互に訪問するなど交流を深めています。



### 多層民家

田麦俣地区には江戸時代の民家が今も残っています。土地が狭い上に積雪が多く、毎日の暮らしと作業・養蚕のための部屋が一つの建物の中にまとめられています。



### しな織

関川地区ではシナの皮を繊維にして織ったしな織が伝えられています。歴史は古く、国の「伝統的工芸品」にも指定されています。シナの木の新植、後継者の育成などにも取り組んでいます。